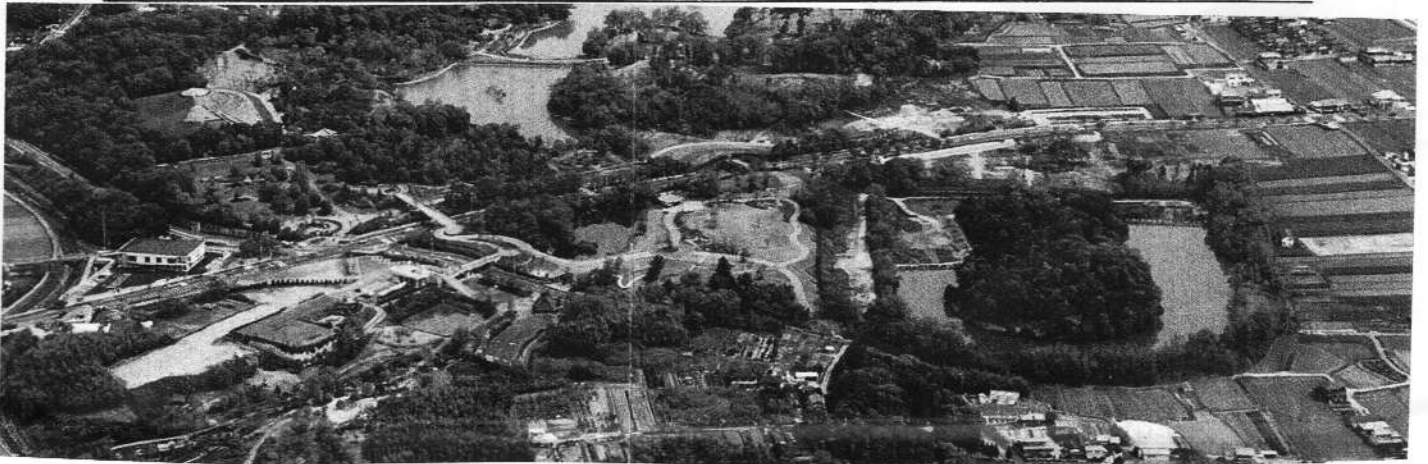


## 倭の五王



奈良で聞いた話だが「ウソ話がホントになる」というイソップみたいな歴史話が多いそうで、失礼になってはならぬが、当地に多い聖徳太子伝説も『太子信仰』と共に拡大した偽話が沢山あって太子の立派なご生涯とは別に、事実ではない伝説名所があるらしい。

拙の子供時代。歴史といえば古事記の神話で、関連して歴代の天皇名を覚えさせられた。奈良を歩くとその天皇名を思い出すことがある。「スジン・スイニン・ケイコウ・・・」

その崇神天皇陵や景行天皇陵は行ったことがないが、西ノ京には田道間守の墓が見える『垂仁天皇陵』がある。これらの大王は実在したらしいが、それ以前の王は？

「神武・スイセイ・安寧・イトク・・・」みーんな神話だと言うのに御陵がありまっせ。

「仁徳・リチュウ・ハンセイ・インキョウ・・・」

中学の歴史教科書には「仁徳天皇陵は、ピラミッドや秦の始皇帝陵よりも大きい」と記されており、その仁徳帝を『倭の五王のうちの讚』とする説がある。

『倭の五王』とは中国南朝・宋の歴史書に記されている倭国(日本)の五人の王のことで、西暦413年頃、日本には『讚=(仁徳or履中)珍=(反正)済=(允恭)興=(安康)武=(雄略)』の五人の王が在位したという。史実に合わぬ面もあるそうだが、私にとって疑問なのは、これらの王の墓が、全て大阪府にあることで、しかも、みんな大きい。この凄い土木技術はどこから来たものか？

仁徳帝が全くの素人だったら「三重の堀を持ち形も美しい『前方後円墳』」を指図して作れるとは思えない。土木工事を熟知し、何万の人を何年間も動員できる軍事力があり、必要な資材を調達できる政治力があつたに違いない。宮殿の奥深くしか知らぬ男だったらこんなことは出来ない。仁徳帝は帰化人・渡来人だったのか？ それなら、大阪(難波津)の高津宮に陣取って活躍し、堺へ葬られたことにも納得がいくが・・・

歴史を学ぶことは難しい。教えることも大変だ。しかし、古都には何やら判らん伝承が淀んでいる。「ウソ話がホントになる」のも仕方ないか???

「チャブダイ」って 覚えてます？



チャブダイ (卓袱台)とは『日本式食卓』 「サザエさん」の親父の磯野波平さんがフネさんやカツオ・サザエ夫婦や孫たちと座って食事をする「座卓」のことを言う。

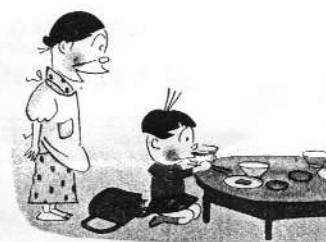
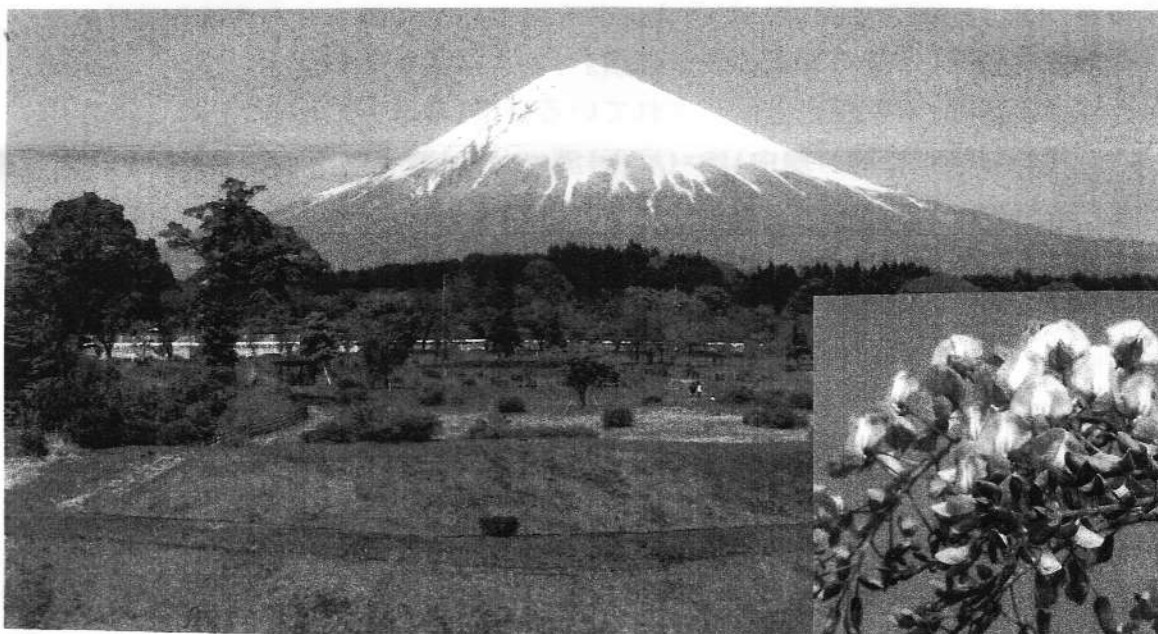
明治20年頃からの日本家庭の「食事風景」だったが、テーブルと椅子で食べるようになって見えなくなった。今では、家族がそれぞれ勝手に食事して、親父の『権威』が失墜。『家族の団欒』も薄いようだ。

このチャブダイという語は中国語のようだが、中国辞典には載っていない。中国語の食卓は「吃飯台(チファンタイ)」で、チャブダイと少し似てるが元の語とは言いにくい。

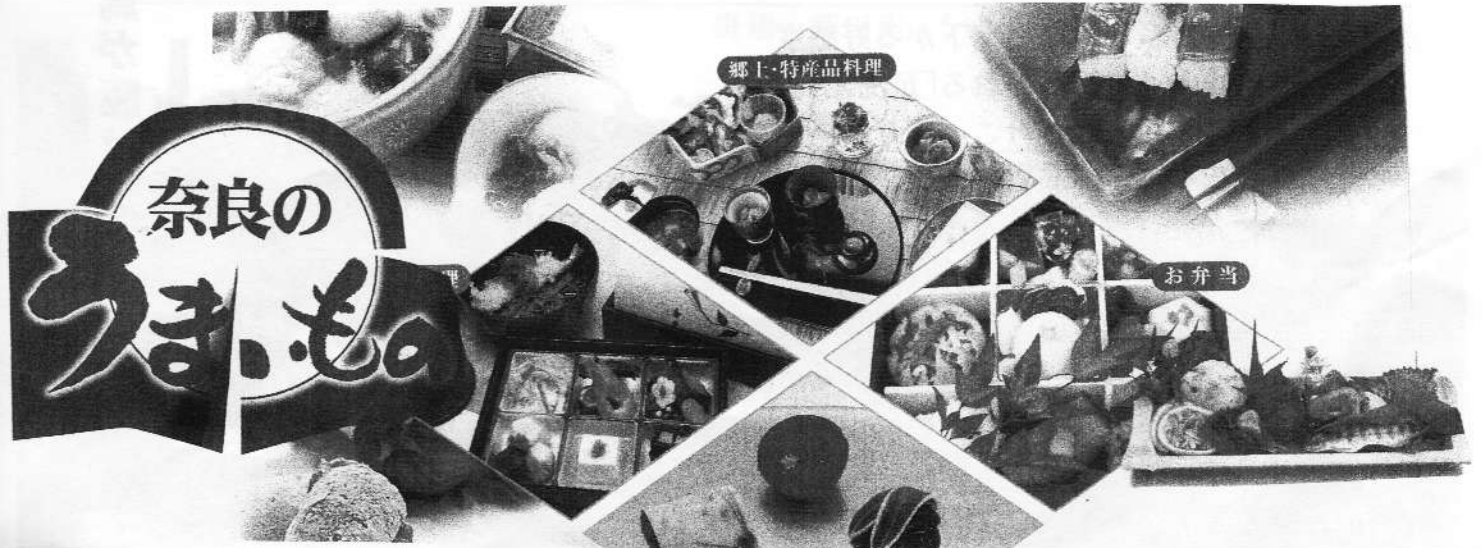
関西には卓袱を「しっぽく」と読み、いろいろな食材をトッピングした麺もあるし、長崎の中国風料理も『卓袱(しっぽく)』という。しかし双方とも「台」と関係がない。

江戸時代の日本は『銘々膳』という自分の膳を持っていたから、(卓袱台)は開国した日本家庭が作り出したものだろうか？ 一家全員が揃って食べ、礼儀や感謝も教わったのは良かったと思う。

食事が出される前は子供の「勉強机」。食事が終わると脚を折り畳んで脇へ置き、広くなった空間で、子供たちが「でんぐり返し」をしたり、座布団を重ねて「馬跳び」をした。



富士宮の芝桜と藤 佐野徹氏提供



所要で奈良県南部へ行き、昼食のためレストランに入った。食堂は沢山あるが、たまたま駐車可能と見て、立ち寄ったのが苦勞の元。

テーブルの上に スマートフォン(スマホ) があり、画面を見て、物・量・数・温冷・サラダ・スープ類・ドリンクの種類などをタッチして注文するらしい。

「どんなメニューがあるのか」判らんで、ウェイトレスを呼んで聞いたが、彼女は不満らしい。口を尖らせ「見れば判るヨ 何を食いたいか?」「スマホが出来ん爺は来るな!」と不貞腐れて愛想もサービスもない。こうなると提供された食事も「スマホが作った料理だナ?」と不味そうに見える。

携帯電話(ケータイ)もそうだったが、今はスマホ。電車内やプラットフォームで指の運動をする人が多い。「一体何を見ているのか?」 拙には絶えず操作せねばならん事案がない。

そう言えば近頃、鉄道的人身事故が多い。先日の東京は最初が山の手線だったが、すぐに東横線・京浜線なども事故となり、帰って来た奈良線でも「この電車は人身事故のため、〇〇分遅れて運行しております。お忙しいところを云々」と車内放送。

スマホに夢中になっている人が原因ではなからうな?

私には、息子が買って呉れたケータイがあるが、使用する場面がないし、番号はあまり知らせてないので、他から掛かってくることもない。

スマホに似てるのは『電子辞書』。転居の際に「百科事典」は持ち出せず、処分してしまったので、転居後は図書館利用だったが、思い付いて電子辞書を購入した。

小型の中に100種類以上の事典・辞書が入り見やすく、関連事項にジャンプもする。イヤホンで耳学習も出来、車中使用も可能。しかし、私は外へは持ち出さない。

今後は、機器が人間の代行をする例が多くなるだろうが、食事は人間らしく願いたい。

「いらっしゃい!」 と大声で迎えられ「〇〇一丁」と叫ぶ料理人。「へーいお待ち!」と湯気の立つ奴。支払いするのも気持ちがいいし、満足顔で店を出られる。

今日の店に居たのは機器だナ。ふと、チャップリンのモダンタイムスを思い出した。

龍馬が駆け抜けた

- 5/27(足利州)お座敷に上がって下がる好感度  
刑事でも妻に言われる「足洗え!」  
おもてなし靴だけこっそり「表出し」
- 5/29 もう尻に敷かれていると 出雲禰宜  
山の神 山の日出来て なお威張り
- 5/30 大仏も 歩きたかろうに 皐月風
- 5/31 『ユーモアの根底は豊かなヒューマン心』
- 6/ 1 恐妻家を「豊心丹」(気付け薬)というのは  
製造元が西大寺(妻大事)だから
- 6/ 5 「幻の万博ピアノ」榛原高校に現存していた
- 6/10 ウィグルの苦労をテロと押さえ込み  
大仏殿北水路の『大仏堂』は六月中旬まで
- 6/11 美女イクメン ガキ出るCM ウソ多し
- 6/12 何やる気? 古希の両手に入門書  
でかいこと 言ったが針穴 通らない  
夏草と四つに組みし よろけ膝
- 6/13 鹿の子が よろけて娑婆の味を知る
- 6/15 神様を勝手に信じ 殺し合い  
銃向けて 敵を倒すが 神の意志
- 6/16 矢田山のアジサイ一万 ただ今七変化中  
鮎 有 木札 吉野口
- 6/19 「正義だ!」と 挙げたこぶしで 散歩する  
二個買えば 安くするのが 不思議なり
- 6/20 前世より 来世が近い歳になり
- 6/21 新聞を見る前に答えろ「今日は何月何日?」



十石舟は冬季以外の3シーズン  
運転しているため、季節ごとに変わ  
る伏見の様々な表情を楽しむ  
ことができる。夏場は夜間のみの  
運転になり、また違った風景を  
見られるのにも注目!



② 三十石船  
運航期間/4/5(土)~5/6  
(休)、10/11(土)~13(祝)、  
11/1(土)~3(祝)  
運休日/月~金曜(祝日を除く。  
上記運航期間以外は運休)  
料金/大人1000円(中学生以上)  
小人500円(小学生以下)  
定員/30名  
所要時間/約40分

江戸時代には大坂と伏見の間を輸送  
船が行き来していた。酒や米などの物品  
のほか旅行客なども運んだ。当時の大切  
な交通機関だったのだ。現在は、期間は限  
られているものの、川をめぐる遊覧船を運  
航。かつて港町だった伏見の、往時の姿を  
思い浮かべながらの遊覧はまた格別だ。  
ルートと大きさが違う三十石船も人気。

船に揺られ  
伏見のまちを散策  
① 十石舟  
運航期間/4/1(火)~11/30(日)  
運休日/月曜(祝日を除く。4、5、10、11月は月曜も運航。  
8/18(月)~31(日)は夏期運休)  
料金/大人1000円(中学生以上)、小人500円(小学生以下)  
定員/15名 所要時間/約55分  
出航時間/10:00~11:20の間20分間隔で5便  
13:00~16:20の間20分間隔で11便  
運航コース/月桂冠大倉記念館裏乗船場~三栢開門下船  
(見学)~乗船~月桂冠大倉記念館裏乗船場  
間/NPO法人伏見観光協会  
TEL/075-623-1030 乗船に関する疑問、お問い合わせ

六月 銭湯 会話

- 甲 「今日は何月何日や?」 乙 「6月1日 日曜日」  
甲 「あしたも1日にしてほしい」乙「そんな アホな」  
甲 「毎月1日、麺の日、うどんが半額なんや」

☆☆☆ 50号になりました。☆☆☆

清水から転居する時「奈良のことを知らせて」と依頼され、気軽に引き受けた本通信が50号になりました。「イヤになったら止める」と無責任なことも考えていましたが、感想を下さる方もあり、ここまで来ました。見聞を「記事になるか? 易しく書けるか? ユーモアはetc」と考えるのも楽しみになっています。いつまで続けられるか判りませんが、感謝しつつ、もう少しやってみます。

現在の寺田屋は、建物内の男子の湯が  
宿泊も可能。横は、龍馬の銅像が建った  
れた広場になっている。龍馬を想う六  
幕来つア、壁面ワンで、一年中にあ  
う観光客が訪れる。

